



竜北中学校

3月になり、全生徒、全職員で1年間のまとめに頑張っています。さて、3月12日が卒業式です。80人の3年生は残り少ない中学校生活を楽しんでます。立派な卒業式を執り行いたいと思います。

◆近況紹介

【11月30日：芸術鑑賞会】

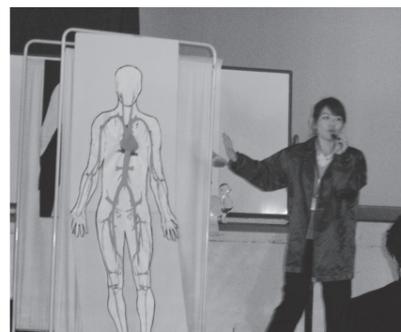
熊本芸術オペラ協会を招いて、芸術鑑賞会を行いました。演目は、熊本が舞台の「おてもものバツテン嫁入り」というもので、とても楽しい舞台でした。さすがプロです。この日は、竜北西部小学校の6年生も参加し、楽しいひとときを過ごしました。

【12月6日：親子講演会】

講師に町の保健師の本村さんと日赤熊本健康管理センター運動士の宮本さんを招き、「糖尿病予防」をテーマに親子講演会を行いました。中学生にとっては、少し遠いテーマに思えたかもしれませんが、「若いときからの健康習慣作りは大切だ」としっかり考えることのできた時間になりました。



▲芸術鑑賞会



▲親子講演会

【12月10日：生徒会役員選挙】

来年度の生徒会役員選挙を行いました。左下写真は、選挙運動の一コマで、登校する生徒に支持を訴えているところです。右下写真は、投票風景です（投票箱と記載台は町の選挙管理委員会から借用しました）。即日開票の結果、新しい会長、副会長、書記が決まりました。この結果を受けて、生徒会議長、副議長、各委員会委員長も決まり、新体制による活動も始まっています。それぞれの今後の活躍を期待しています。



▲支持を訴える候補者



▲投票する生徒

～本年度のご支援・ご協力ありがとうございました～

清流氷川だより

氷川流域フォーラム

1月19日、まちづくり情報銀行において氷川流域フォーラム（清流氷川流水対策協議会・氷川せせらぎの会主催）を開催しました。

昨年6月に氷川ダムで行われた「かき殻まつり」や、11月に流域の拠点施設を中心に行われた「全国大学生政策アカデミー」などの活動事例報告と、

「コミュニティの森」の管理

「氷川の水環境と流域連携」をテーマにパネルディスカッションを行い、氷川の現状と今後について理解を深めました。当日は、氷川のボランティア特派員、立神峡公園管理組合、熊本県八代地域振興局などから40人の参加があり、官民を超えた交流と情報交換の良い機会となりました。

八代市泉町栗木に、氷川町と八代市が共同所有している「コミュニティの森」という森があります。水流協では、この森を雨が自然に染み込んで地下水となり、年間を通じて水源確保ができるような森林（水源涵養林と言います）にすることを目的に、補植活動や必要に応じた下草刈り、歩道の整備などの保全活動を行っています。昨年8月に森全体の下草刈りを行いました。将来立派な森になるよう、今後も活動を続けていきます。

氷川清掃活動

昨年8月5日、松本橋公園上流の河川敷・河川内の清掃活動を行いました。清流協および氷川せせらぎの会の会員約40人が参加し、河川敷の草刈りや河川内のごみ・空き缶拾いに汗を流しました。

河川内はヨシや雑木が茂り、ビニール類などの流れてきたたくさんさんのゴミが絡みついていました。氷川の水環境を改善していくため、今後も清掃活動を続けるとともに、河川内の整備も併せて要望していきます。



氷川流域フォーラム
～氷川のこれからを考える～



清流氷川流水対策協議会 平成24年度実施事業（計画含む）

月	事業
24年6月	氷川ダムかき殻まつり (次世代のためにがんばる会主催)
8月	清掃活動(氷川河川敷などの清掃) コミュニティの森下草刈り
11月	氷川流域連携・全国大学政策アカデミー2012 ～火の国・火の川から始まる交響政策～
25年1月	氷川流域フォーラム
3月	コミュニティの森整備事業

◎ボランティア特派員による河川監視 毎月1回

ボランティア特派員とは

清流氷川流水対策協議会では、氷川の豊かな自然と清流を後世に残していくために、環境保全活動の一環として、氷川水系河川の水質汚濁、ごみの不法投棄および自然環境の変化などについて、定期的な監視活動を行うことを目的に、氷川のボランティア特派員を設置しています。

氷川の上流から下流にかけて、8か所の監視地点を設け、毎月1回、ボランティア特派員による河川の監視(水の状態・生物の様子・ごみの様子などについての監視)を行っています。

氷川で活動中の特派員さんを見かけたら、気軽に声を掛けてください。

清流氷川流水対策協議会 事務局(氷川町役場企画財政課) ☎ 52 - 5850(直通)